第5講　実用文対策　その1

第3問

わかりやすい言葉づかいについて自分の考えを書くという課題を与えられたUさんは、かつて外来語をわかりやすく言い換える提案があったことを知って興味を持ち、そのことを例に**【文章】**をまとめている。**【資料Ⅰ】**と**【資料Ⅱ】**は、集めた資料をUさんがまとめ直したものである。これらを読んで、後の問い（**問1～3**）に答えよ。（配点　20）

【文章】（段落に 1 ～ 4 の番号を付してある。）

1　言いたいことをわかりやすく伝えるためには、語句を言い換えたほうがよいことがある。その一例として外来語を取り上げたい。**【資料Ⅰ】**は、二〇〇三年当時、あまり定着していなかった外来語について、わかりやすい言い換えが提案されたときの意識調査の結果である。（X）ここでは「インフォームドコンセント」という語に注目して、言い換えの意義について考える。

2　**【資料Ⅱ】**は、「インフォームドコンセント」の言い換えについての提案である。「納得診療」や「説明と同意」と言い換えると、「インフォームドコンセント」とは、医師の十分な説明をもとに患者が納得したり同意したりして、両者が医療に臨むことを表す語句だとわかる。診療場面で重要なことであるにもかかわらず、当時、その概念は浸透

メモ欄

していなかった。この言い換えの提案は、そうした状況のなかで、<u>A意義があったと</u>考えられる。

3 この提案から二〇年近くたった今、言い換えが必要ないほど定着した外来語もあるだろう。しかし、外来語をわかりやすく言い換える必要性が今後なくなるわけではない。それは、ある外来語がそのまま一般的になったとしても、社会の変化にあわせて別の新しい外来語が使われるようになるからだ。また、<u>B時代が進んでも社会全体として外来語の増加を当然だと考える人が大きく増えるとは限らない</u>。意味の伝わりにくそうな外来語については、これからも言い換えたほうがよい場合があるのではないか。

4 今回は外来語の言い換えを例に、わかりやすい言葉づかいの重要性について考えた。今後も外来語について関心を持っていきたい。

メモ欄

【資料Ⅰ】外来語に関する意識の調査

調査年：2003年　調査対象：満15歳以上の男女　調査有効数：3087人
図の数字は％。四捨五入のため合計が100％にならない場合がある。

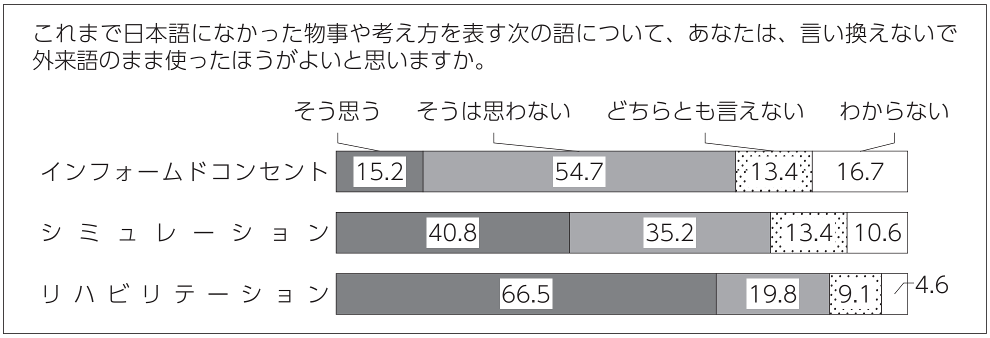

図１　外来語のまま使ったほうがよいか

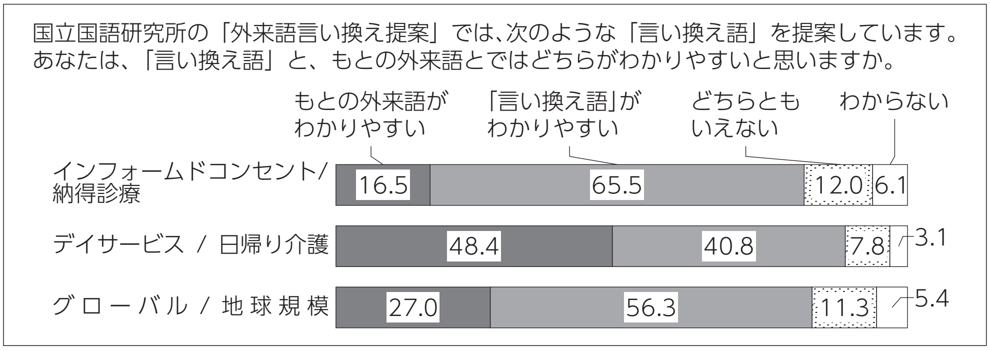

図２　「言い換え語」のわかりやすさ

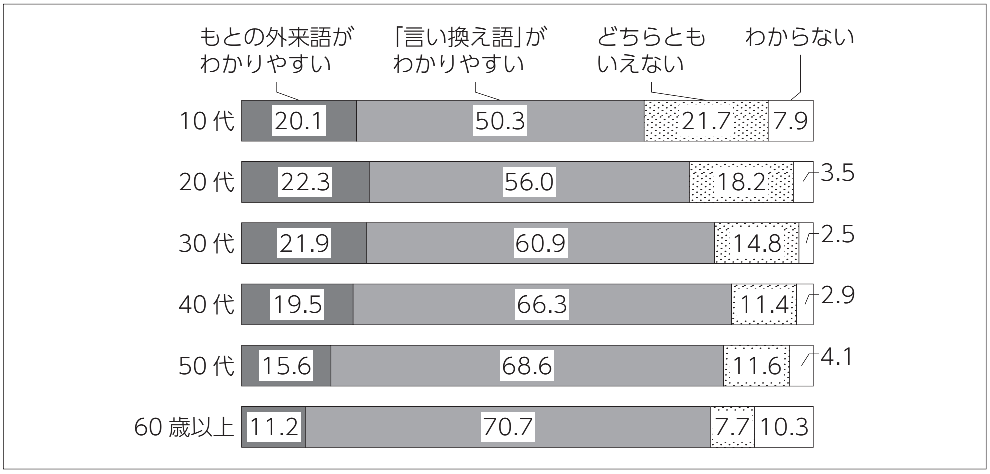

図３　図２の調査のうち「インフォームドコンセント」についての年代別回答

（国立国語研究所『外来語に関する意識調査（全国調査）』をもとに作成）

【資料Ⅱ】「インフォームドコンセント」の言い換え提案（2006年）

インフォームドコンセント

【言い換え語】　納得診療　説明と同意

【用例】

納得診療

　この病院は**インフォームドコンセント**を重視し、患者中心の医療の実践をうたっている。

説明と同意

　子供の移植患者に対しての**インフォームドコンセント**は昨春から一度でよいとされている。

【意味説明】

　十分な説明を受けた上での同意

【手引き】

◎1980年代から日本でも使われるようになった語で、1990年に日本医師会が、日本の医療への導入と普及の必要性を指摘したことなどをきっかけに、一般に広まり始めた。

◎医療を中心に、現代社会における重要概念として、普及定着が望まれているが、現状では意味を理解している人は少ないので、言い換えや説明付与などの必要性は高い。

◎診療場面において使われることが多く、患者の納得に基づく診療行為を表したい場合は、「納得診療」という言い換えが分かりやすい。また、患者の納得という行為を前面に出すことによって、患者の視点からこの概念を見ることを促す効果も期待でき、概念の普及にも役立つと考えられる。

（国立国語研究所「外来語」委員会編『分かりやすく伝える外来語言い換え手引き』をもとに作成）

問1　Uさんは、「インフォームドコンセント」という語に注目する理由を明確にするため、**【文章】**の 1 段落の（X）に文を書き加えることにした。書き加える文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 18 。

① **図1**が示すとおり、特に「インフォームドコンセント」については、他の語に比べて多くの人が外来語のまま使用するほうがよいとしている。

② **図1**と**図2**が示すとおり、特に「インフォームドコンセント」については、外来語の言い換えを肯定的に捉える人の割合が他の語より多い。

③ **図2**と**図3**が示すとおり、特に「インフォームドコンセント」については、「言い換え語」に対する年代ごとの意識の差が他の語より大きい。

④ **図3**が示すとおり、特に「インフォームドコンセント」については、もとの外来語のほうがわかりやすいとする割合が、年代が下がるほど高い。

メモ欄

問2　Ｕさんは、**【文章】**の傍線部Ａ「意義があった」について、どのような意義があったのかを具体的に示すため、表現を修正することにした。修正する表現の内容として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 19 。

① 医療現場で医師の言葉が患者にわかりやすく伝わるようにするとともに、外来語を身近な日本語に言い換えるという発想を広めようとする点で意義のある試みだった

② 医師の責任を明確にして患者を安心させるとともに、医師の使う外来語を患者が適切に理解した場合の効果を社会に伝えようとする点で意義のある試みだった

③ 医師と患者の両方の立場を尊重するとともに、患者の訴えを医師が十分に理解して受け止めることの重要性を確認していこうとする点で意義のある試みだった

④ 医療における医師の説明や患者の納得の必要性を重視するとともに、この外来語の表している概念を社会に定着させようとする点で意義のある試みだった

メモ欄

問３　Uさんは、【資料Ⅲ】を用いて【文章】の 3 段落の主張に根拠を加え、さらに【文章】の全体を整えることにした。これを読んで、後の(i)・(ii)の問いに答えよ。

【資料Ⅲ】外来語に関する意識の2002年と2022年の比較

調査対象：満20歳以上の男女

調査有効数：2002年は1295人、2022年は1152人

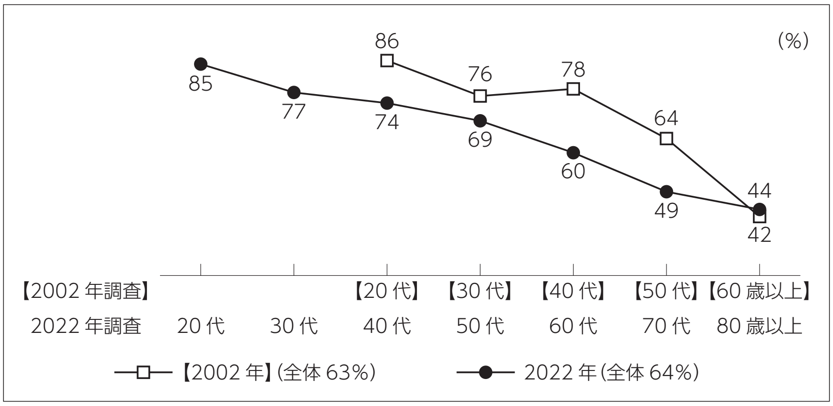

図４　「外来語が増えるのは当然だ」とする人の割合

【図についてのメモ】

・図では、次の二つの考え方のうちＡに賛成した人の割合を示している。

> Ａ：新しい物や考え方が入ってくるから、外来語が増えるのは当然だ
>
> Ｂ：新しい物や考え方が入ってきたら、外国語を日本語に訳して使うほうがよい

・図の横軸では生まれた年を基準にして同じ世代が同じ位置に示されている。例えば、【2002年調査】の【20代】と2022年調査の40代は、生まれた年を基準にすれば同じ世代なので、同じ位置に示されている。

・回答者全体のうちＡに賛成した人の割合は、2002年と2022年でそれぞれ63%、64%である。

（NHK放送文化研究所『放送研究と調査』2022年12月号をもとに作成）

（ⅰ）　Uさんは、**【文章】**の 3 段落の傍線部Ｂ「時代が進んでも社会全体として外来語の増加を当然だと考える人が大きく増えるとは限らない」という主張の根拠を明確にするため、**【資料Ⅲ】**を用いようと考えた。**【資料Ⅲ】**から読み取れる根拠として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 20 。

① 二〇〇二年と二〇二二年の六〇代以上を除く各年代について、同じ年代どうしを比較すると、外来語が増えるのは当然だと回答した人の割合に大きな変化が見られないこと。

② 二〇〇二年と二〇二二年のどちらの調査においても、回答者全体のうち外来語が増えるのは当然だと回答した人の割合は六割程度しかなく、著しい差はないということ。

③ 二〇〇二年の調査と比較すると、二〇二二年の調査では、生まれた年を基準にした同じ世代において、外来語が増えるのは当然だと回答した人の割合が低い場合が多いこと。

④ 二〇〇二年の六〇歳以上と比較すると、二〇二二年の六〇代、七〇代、八〇歳以上の各年代では、外来語が増えるのは当然だと回答した人の割合が低くなっているということ。

メモ欄

(ii)　さらにUさんは【文章】全体を読み直し、加筆・修正したいと思ったことを書き留めた。加筆の方針として最も適当なものを次の①〜③のうちから一つ、修正の方針として最も適当なものを次の④〜⑥のうちから一つ、それぞれ選べ。加筆の方針についての解答番号は［21］、修正の方針についての解答番号は［22］。

① かつて言い換えを求められた外来語がその後どれだけ定着したかを示すため、【資料Ⅰ】と【資料Ⅱ】をもとに、言い換え語に対する人々の意識の変化について説明する文章を［1］段落に加筆する。

② 言い換えの提案がどのような形で実践されようとしていたかを示すため、【資料Ⅱ】をもとに、用例を挙げたり手引きを加えたりという工夫があったことを説明する文章を［2］段落に加筆する。

③ 外来語の言い換えが現在ではより一層重要になっていることを示すため、【資料Ⅲ】をもとに、外来語を頻繁に使う人が増加していく傾向にあるということを説明する文章を［3］段落に加筆する。

④ 与えられた課題に対しての結論を述べる必要があるので、［4］段落の末尾の文を「一つ一つの外来語の意味を適切に理解していくことが重要である。」と修正する。

⑤ 与えられた課題に対しての結論を述べる必要があるので、［4］段落の末尾の文を「伝える相手や目的に応じて語句を使い分けていくことが重要である。」と修正する。

⑥ 与えられた課題に対しての結論を述べる必要があるので、［4］段落の末尾の文

メモ欄

を「医師の使う用語の概念が患者に伝わるかに注目することが重要である。」と修正する。

「大学入試共通テスト」２０２５年度本試験より

メモ欄

■2025年度 本試験

問題番号（配点）	設　問	解答番号	正　解	配　点
第3問 (20)	1	18	2	4
	2	19	4	5
	3	20	4	5
		21	2	3
		22	5	3